



鹿児島市歴史・文化探究学習プログラム

# 明治維新前後ツアー

## ～変化の時代に学ぶ歴史の多面性～

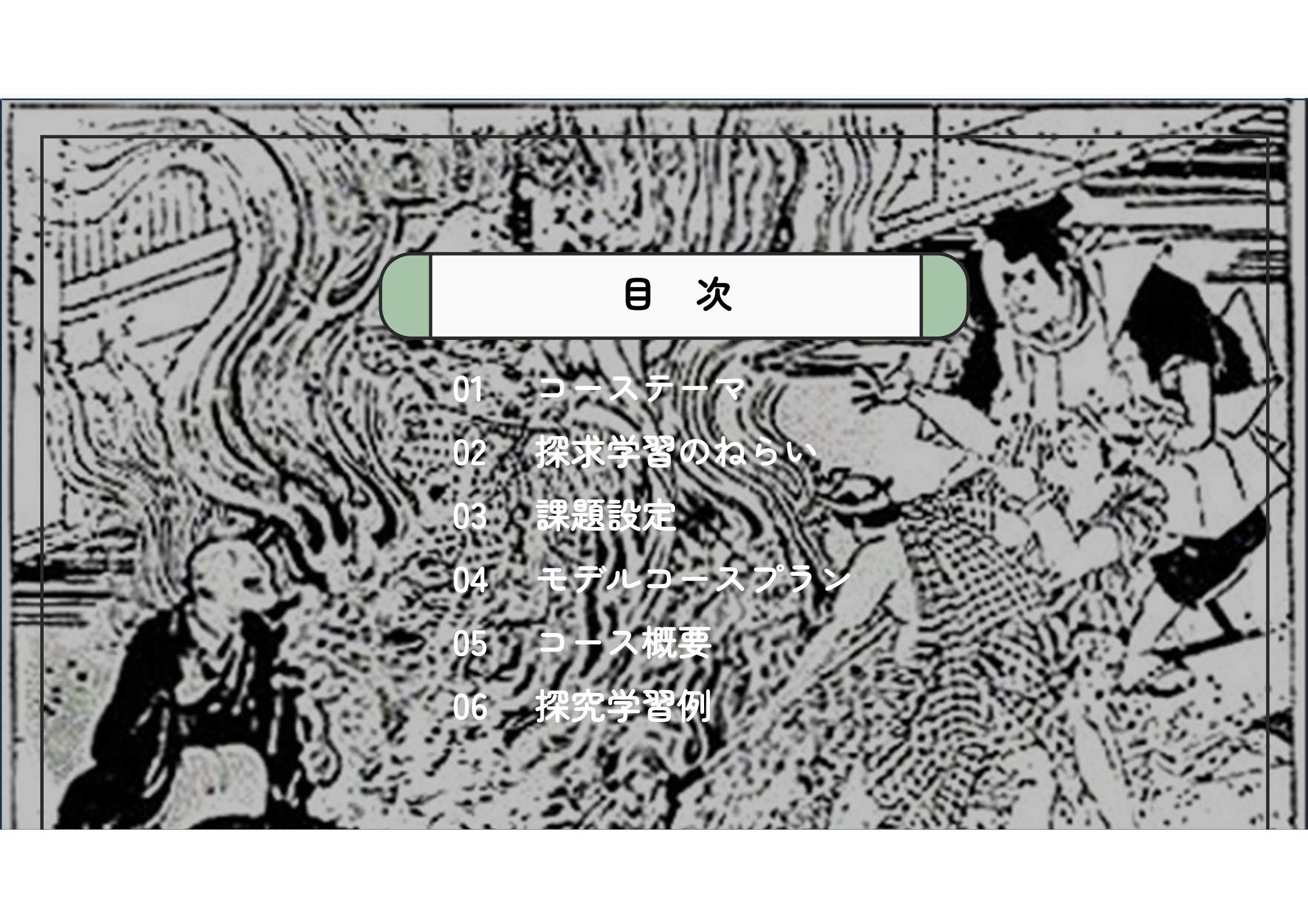
鹿児島大学法文学部

住吉太郎

末川愛梨

格元康佑

平井優成



## 目 次

- 01 コーステーマ
- 02 探求学習のねらい
- 03 課題設定
- 04 モデルコースプラン
- 05 コース概要
- 06 探究学習例



01

## コースコンセプト～変化の時代に学ぶ歴史の多面性～

### 鹿児島であることの意味

鹿児島は、日本の歴史の中でも大きなターニングポイントとなった明治維新に大きく貢献した土地。社会の全てを一新したとも言える「百事御一新」を語るにあたって、鹿児島で生まれ育った西郷や大久保らの存在は欠かせない。

鹿児島には、彼らのような歴史に名を残した“偉人”的足跡が色濃く残るだけでなく、歴史の影に隠れた事実や痕跡もが「歴史の証言者」として現代に残されている。

“明治維新の光と影”を歴史と文化の根付いた南国鹿児島から紐解く。

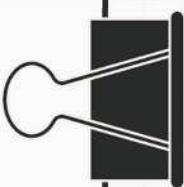
### コンセプト

明治維新にともなう変化が、地域や文化にどのような影響を与えたのかを「鹿児島ならでは」の視点を交えながら考察する。

輝かしい“成功”の歴史としてのイメージが強い明治維新。「History is written by the Victors(歴史は勝者によって書かれる)」との言葉もあるが、明治維新の実態はいかなるものだったのだろうか。

異なる視点から歴史を見ることを通して新たな発見に出会い、目まぐるしく変化する社会で生きる糧にする。

※プランの対象は高校生



# 探究学習のねらい

02

## 定義と流れ

### ・【探究学習】の定義

変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えいくための資質・能力を育成する

→自身で問い合わせを立て、定まった答えのない課題を探求し、問題を解決する学習

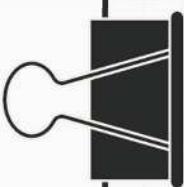
### ・プロセス

- ① 【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
  - ② 【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする
  - ③ 【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
  - ④ 【まとめ・表現】気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する
- こうした探求の過程を学習の狙いに合わせて前後させる。

明治維新をベースに、「歴史学習」になることを避け、「探求学習」を目指す。

出典：文部科学「総合的な学習（探求）の時間」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/sougou/main14\\_a2.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm)



03

## 課題設定

### 事前学習

#### ①教科書をベースに「明治維新」を深掘りする【情報の収集】

狙い：明治維新についての基礎知識を身につける

自ら疑問を見つける活動で主体的に学習し、歴史学習の楽しさに触れる。

「明治維新」を得意分野にする。

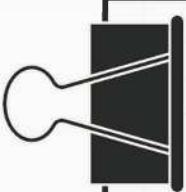
#### ②実地学習で巡る場所について調べる【情報の収集】

狙い：実際に現地で巡る目的意識を育てる。

歴史的文脈の中で、巡る場所の位置付けを考える。

#### ③探求課題を見つける【課題の設定】

狙い：【情報の収集】を踏まえ、学生自身で課題を設定し、課題解決の目的をもって実地学習に臨めるようにする。



02

課  
題  
設  
定

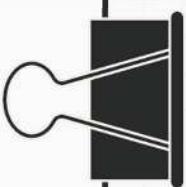
## 実地学習

① 「変化の時代に学ぶ歴史の多面性」を大テーマにコースを巡る 【情報の収集】

狙い：現地でしか得られない発見や地域での位置づけを知る。

② 各自の探求課題の解決／探求の糸口を見つける 【情報の収集】

狙い：実際にに行くからこそその”気づき”を持ち帰る。



02

## 課題設定

### 事後学習

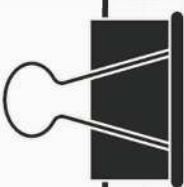
#### ①ふりかえり【整理・分析】

狙い：実地学習での学びの成果を踏まえて、今後の探究学習の見通しを立てる。  
探究課題を練り直す。

#### ②発表準備【整理・分析／まとめ・表現】

#### ②発表【まとめ・表現】

狙い：自らの探究学習の集大成を仲間と共有し合い、新たな気づきや学びを得て総括する。



04

モ  
デ  
ル  
コ  
ー  
ス  
プ  
ラ  
ン

～変化の時代に学ぶ歴史の多面性～

①若き薩摩の群像 滞在時間5分

↓シティービュー(鹿児島中央駅→維新ふるさと館前) 2分

②維新ふるさと館 滞在時間60～90分

↓市電(加治屋町→いづろ通り) 8分

一昼食休憩－ ※天文館お食事マップを配布

↓徒歩15分

③黎明館 滞在時間40～50分

↓徒歩5分

④最大乗院 滞在時間10分

↓シティービュー(薩摩義士碑前→今和泉島津家本邸跡前) 12

分

⑤大龍寺跡 滞在時間5分

↓徒歩5分

⑦南洲神社 滞在時間30分

## 05

## コースの概説

### ①若き薩摩の群像

#### 【ポイント】

日本の未来のために海を渡った一人ひとりの物語

#### 【目的】

「薩摩スチューデント」と呼ばれる19人の薩摩藩士らのモニュメントであるが、その一人ひとりにスポットライトが当たる機会は多くない。鹿児島の玄関口にそびえ立つ理由や意義を歴史的文脈から考える。





05

## コースの概説

### ②維新ふるさと館

#### 【ポイント】

新時代を気づいた偉人の功績を体感する

#### 【目的】

事前学習で学んだ明治維新に関する事柄をふりかえりつつ、新たな気づきを得ることを目的。  
幕末から維新にかけての薩摩の英雄たちの輝かしい功績を、臨場感溢れる展示を通して楽しみながら学ぶ。



## ③黎明館

### 【ポイント】

明治維新・廢仏毀釈について学芸員の方から詳しく説明してもらう

### 【目的】

今でも御楼門には、痛々しい戦いの跡が残る。明治維新・廢仏毀釈について専門家の視点から解説をしてもらい理解を深める。また明治維新という大きな時代の流れの中に廢仏毀釈がどのように位置づけられるか考える。

## 05

## コースの概説

### ④最大乗院

#### 【ポイント】

維新の“傷跡”が物語る廃仏毀釈の凄惨さ

#### 【目的】

首のない地蔵、首が足元に置かれた仏像、損壊痕のある狛犬は明治初期に激化した仏教排斥運動の“当事者”。激しい運動の起こった鹿児島の地で、文字で見る・画像で見るでは感じることのできない惨状に維新が落とした影を見る。



## 06

# コースの概説

### ⑤大龍寺跡

#### 【ポイント】

実地散策を通して廃仏毀釈の実態に迫る

#### 【目的】

現在の大龍小学校敷地には大龍寺が存在した。  
イメージしづらい廃仏毀釈の実態を、維新の犠牲となった名刹の名残から認識する。



## ⑥南洲公園

桜島を向き薩軍の兵士たちは眠る

・墓石と雄大な桜島

・廃仏毀釈の勉強だけでなく雄大な  
桜島の景色も楽しめる





06

## 探究学習例

### [03 課題設定] の流れ

#### 事前学習

- ①教科書をベースに「明治維新」を深掘りする
- ②実地学習で巡る場所について調べる
- ③探究課題を見つける

#### 実地学習

- ①「変化の時代に学ぶ歴史の多面性」を大テーマにコースを巡る
- ②各自の探究課題の解決/探究の糸口を見つける

#### 事後学習

- ①ふりかえり
- ②発表準備
- ③発表



06

## 探究学習例

### 事前学習 ③探究課題を見つける

#### 事前学習

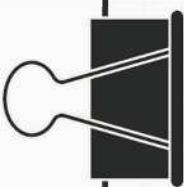
- ①教科書をベースに「明治維新」を深掘りする
- ②実地学習で巡る場所について調べる
- ③探究課題を見つける

③-1 [ワークシート設問項目 リスト] の設問に沿って明治維新や廃仏毀釈と鹿児島についての学びを深める

③-2 課題(仮テーマ)設定

#### 〈課題設定の視点例〉

- ・生徒個人の興味関心と結びつける
- ・廃仏毀釈から現代の宗教問題について考える
- ・廃仏毀釈から発展させて同時代/異なる時代における宗教弾圧や犠牲の歴史について考える
- ・鹿児島と自分の暮らす地域を比較分析(街/歴史的出来事)



06

## 探究学習例

### 課題(仮テーマ) 例

#### 歴史は“メディア”～歴史の描かれ方に学ぶ、事実の在り方

～

設定理由：事前学習を通して、私たちが学校で習う歴史はあくまで一つの切り口から過去を見たものに過ぎないと感じた。このことから、「歴史」は実際に起こった出来事を人々に伝える媒体という点でメディアそのものであり、必ずしも事実を表すものではないと考えた。この視点を、現代社会で度々話題となる新聞やテレビなどのメディアによる偏向報道や印象操作といった事象に絡め、情報社会における情報との付き合いを考える。

事前学習での学び：歴史は見る視点によって大きく受ける印象が違ってくる  
着眼点：「歴史≠事実」を「メディアの報道≠事実」と関連づけ、実生活との  
関連性を見出しやすいテーマを設定



06

## 探究学習例

### 事後学習①ふりかえり

#### 実地学習

- ①「変化の時代に学ぶ歴史の多面性」を大テーマにコースを巡る
- ②各自の探究課題の解決/探究の糸口を見つける

①-1 実地学習での学びの成果を踏まえて、事前学習で立てた課題(仮テーマ)を見つめ直す

①-2 今後の探究活動の見通しを立てる  
探究課題(本テーマ)を決定する

#### 事後学習

- ①ふりかえり
- ②発表準備
- ③発表



06

## 探究学習例

### 全体の流れ

#### 事前学習

- ①教科書をベースに「明治維新」を深掘りする
- ②実地学習で巡る場所について調べる
- ③探究課題を見つける

#### 実地学習

- ①「変化の時代に学ぶ歴史の多面性」を大テーマにコースを巡る
- ②各自の探究課題の解決/探究の糸口を見つける

#### 事後学習

- ①ふりかえり
- ②発表準備
- ③発表